図書だより　3月

2026（令和８年）3.2（月）第11号　藤井寺北小学校

こんねんどは、本のせいりが すすみ、みんなが 見やすい、
さがしやすい 学校図書館づくりを つづけてきました。
みんなの リクエストの 本も、買うことが できました！
らいねんども、たくさんの 本が たのしく読めて、
みんなが しりたいことが わかる、学校図書館を めざします！

すべての 本を 学校図書館に かえしましょう！

すべての 本を 学校図書館に もどします。
そして、らいねんどに むけて せいりを します！
かしだしは できませんが、学校図書館は ずっと あいています。
すべての 本が そろった 学校図書館に、本を よみにきてね！

6年生の みなさん、
ご卒業 おめでとうございます！

6年生は、もうすぐ 卒業 ですね！
授業中や、休み時間に 来てくれた みんなの すがたが
たくさん 思い出されます。
一つでも、心に 残る お話が ありますように。
中学校でも、笑顔を 忘れず、元気で！

ご卒業、おめでとうございます！

季節の 本の しょうかい

2011年、3月11日 午後2時46分、東日本大震災が ありました。
この日の ことを わすれず、防災の きもちを もちましょう。

『津波!! 命を 救った 稲むらの火』

（小泉 八雲 / 汐文社）

海のそこが みるまに あらわれはじめた!!

それは、人を おどろかすような 地震では なかった。だが、海を
見た 五兵衛は **あることを おもいだし、**いそいで稲むらに 火を
つけてまわった…。　**（ぜんがくねん むき）**

『つなみ 被災地の 子どもたちの 作文集 完全版』

（森 健 / 文芸春秋）

宮城、岩手、福島の 子どもたち 115人の 作文集

東日本大震災に 直面した 子どもたちが、地震の瞬間や、津波を
目の当たりにした 時に 何を 感じたのか。家族や 親友を 失った
悲しみ、避難所の暮らし、何を支えにしていたのか。**（中・高学年むき）**

本の しょうかい

70年以上も 前に 谷川俊太郎が はじめて だした 詩集の ひとつ です。
二十億光年 という距離は、その当時、著者が 考える 宇宙の 直径を 意味 している
そうです。6年生へ。もし、不安や さみしさを 感じたら 、ぜひ、詩や 本を 読んでみて
ください。いつの 時代でも、人間は みな 同じ 思いを もっていることが わかります。

『にじゅうおくこうねんの こどく』

（谷川 俊太郎・文 / 塚本 やすし・絵 / 小学館）

いつだって どこにいても きみは 宇宙と つながっている

「あるいは ネリリし キルルし ハララしているか…」
火星人の せいかつを そうぞう しています。読んで イメージして、
この詩の 音を たのしもう！　**（ぜんがくねん むき）**